

## 今月の人

## コミュニケーション 大切です！

岩手県県土整備部 河川港湾担当技監

沖 正博



この4月から3年ぶりに県土整備部でお世話になっております。

平成15年4月、平成14年7月の台風6号による大災害を受け、本格的な復旧事業が始まろうとする東磐井郡を所管する千厩地方振興局に着任しました。自分の大きな役割は、その地域住民が待ち望む安全で安心して暮らせる地域社会の早期の実現を目指し、着実に事業の進捗を図ることだと勝手な使命感？に燃えて赴任しました。

ところが現地では、市町村合併の議論の真っただ中で、県内唯一市が存在しない6町村の管内は喧々諤々、白熱した議論？が展開されていました。一関市との合併を目指す町村、東磐井郡6町村の合併を目指す町村、自立を目指す町村など様々でした。その実情を知るにつれ、自分の役割は、管内6町村の首長さん方と本音で意見交換できるような信頼関係を築き、地域がより良い方向に向けるように支援することだと判り、それから毎週のように首長さん方との意見交換をしながらコミュニケーションを図ることから始めました。そして、時間はかかりましたが、両磐の大合併に向けた議論が始まり、ホッとする間も無く、今度は、合併条件での合意が得られず、不安に駆られる日々もありましたが、それよりも、この自治体の平成の大合併、首長さん方にとっては精根尽きるような辛い日々であることを肌で感じ、一国一城の主で地域性の異なる？首長さん方の総意が如何に難しいかということも痛切に感じたものでした。

県土整備部を離れ、初めて土木関係以外の農業や福祉関係なども含む総合行政に取り組むことになったわけですが、各部からの業務説明を受けただけでは、その状況が判らず、大変な戸惑いと不安の日々でもありましたが、先ずその実情を知ることだと思い、現場に出て、地域の人々の生の声を聞くことに努め、たまには新鮮な果菜や美味しい加工品を頂くこともあり、徐々に地域住民とのコミュニケーションを図ることに慣れてきました。

そして、その地域の生の声を聞くことの重さを知り、「小さな言から大きな成果」をキャッチコピーとして、地域住民と振興局との住民懇談会「東磐井住民企画室」を企画し、地域で様々な活動をしている団体やグループなどの皆さんとの意見交換会はとても有意義なものになりました。それらの結果を県政提言と同様に地域のニーズとして取りまとめ、局内で情報共有するとともに、地域の代表者と振興局の局議メンバー等で構成される地域経営懇談会などの継続的な施策評価の中でそれらの提言を反映させることとし、振興局が主催するイベントや研修会等においてもできるだけアンケート調査による参加者のニーズの把握に努めるなど、管内におけるニーズを把握・分析し、データベース化しました。

地方分権の進展で、物事が最も地域住民に近いところで決まる仕組みが作られようとする中、「自立した地域社会の形成」を進めるためには、その地域の「強み」「弱み」、特徴をしっかりと見極め、地域住民と共に考え、地域のニーズを把握したうえで、本当にその地域に必要なものは何なのか？我々の使命は、その「地域らしさ」を追求する中で、県政の理念である「自立・参画・創造」による持続的な地域づくりを支援して行くことだと思います。

県民の安全・安心な暮らしを支え、自立する地域の礎となる力強い社会基盤をしっかりと築くため、顧客である地域住民、そしてビジネスパートナーである市町村やNPOなどとの連携を今まで以上に強めて行く必要があります、そのためにも常日頃からのコミュニケーションが大切であると考えています。

